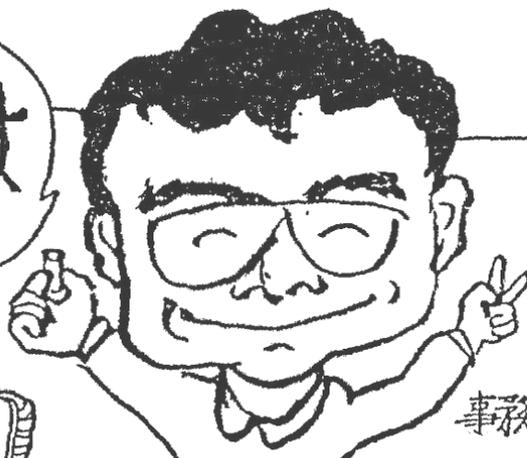


こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2017年11月12日 NO.951



さら とも ひこ

吉良富彦 です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議院内

(2017年11月1日 しんぶん赤旗より) しんぶん 赤 旗

陸軍44連隊遺跡 売却留保を表明

知事答弁をもとに 財務省要請し実現

●9月27日、県議会で、高知大学朝倉キャンパスに隣接する旧陸軍歩兵第44連隊弾薬庫など残る敷地

売却をさせずに戦争遺跡として保存・活用を求めた私の代表質問に、知事は「売却手続きが進められようとしており、検討可能な時間は限られているのではないかと危惧するので、その点については財務事務所に要請したいと思います」と答弁し、直後に財務省に要請しています。

私達共産党県議団も答弁を基に、11月1日、市議団と共に仁比、大門両参院議員同席の下に国に要請。その場で「売却留保」となりました。

●遺跡として保存を求めている「旧陸軍歩兵第44連隊等を保存する会」は、県に要請書を提出。



財務省に要請する(左から)大門、仁比、塚地、迫の各氏=31日、国会内

旧陸軍遺跡 保存へ一歩

敷地の売却留保 共産党に国表明

高知県・市議団要請
大門・仁比氏が同席

高知市朝倉の戦争遺跡、旧陸軍歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の残る国有地が売却されようとしている問題で、財務省理財局は31日、11月に予定していた一般競争入札を留保すると表明しました。同日、国会内での日本共産党高知県議団・高知市議団の要請で明らかにしたもの。市民から遺跡の保存を求める声が上がって

おり、今後、保存に向けた敷地の取得等、地元自治体の姿勢が問われることとなります。要請には塚地佐智良、迫哲郎市議が出席し、大門実紀史、仁比聡平両参院議員が同席。理財局の担当者は、県教育委員会から敷地取得を検討する間、売却手続きを待つよう申し出があったとして「11月の入札をいったん留保する」

と表明しました。同時に、本格的な売却中止には、県の姿勢が重要だと指摘。「現地の担当事務所に皆さんの声を伝える」と述べました。遺跡は、2016年に高知市が委託した調査で歴史的価値が確認され、地元の「旧陸軍歩兵第44連隊の弾薬庫等を保存する会」が保存を求めて署名運動。9月の県議会で、吉良富彦県議に対し尾崎正直知事が、入札手続きの停止を国へ要請することを示唆していました。要請後、塚地県議は「今後も県議会で取り上げ、市民運動と結んで保存を働きかけたい」と話しました。

→ 土地取得の是非について結論を出す予定です。



●5日夜、さんさんテレビ「加藤浩次vs政治家」に娘・吉良よし子(参院議員)が出演。私は、胃が痛くなるので、よう見ません…。ところが、視聴した方から「一歩も引かない!譲らない!さすが吉良さんの子!」笑顔で言い切ってきたらいいね!!あっぱれ(´▽`)/、「聡明で加藤さんの振りにもしっかりと答える姿が素晴らしい!」「ほんとステキです(´▽`)☆ますます人気が出ると思います。」とのメール等寄せて頂きました。…。

●思わぬ温かい励ましの言葉をいただき感謝に耐えません。私もしっかり頑張らねばと、思いをあらたにしました。ありがとうございました。